

春号 みどり通信

発行 21世紀記念公園 麓山の杜管理事務所

連絡先 〒963-8876 郡山市麓山 1-16-17

TEL 924-2194 FAX 924-2195

【みどりの教室】

日時：令和5年7月2日(日)10:00~12:00

場所：21世紀記念公園とんがりふれあい館ホール

定員：20名

内容：エコ教室 テラリウムづくり

受講料：500円

募集期間：令和5年6月9日(金)9:00から

令和5年6月18日(日)17:00まで

申込方法：電話又は窓口で受付

定員を超えた場合は抽選となります。

【記念樹交付日】

場所：とんがりふれあい館ホール

対象：記念樹交付者

日時：令和5年4月23日(日)10:00~15:00

日時：令和5年5月28日(日)10:00~15:00

日時：令和5年6月25日(日)10:00~15:00

***市内に住宅を新築または購入された方へ苗木を1本プレゼントしています。**

申請期間は新築または購入日から1年以内です。

今年は温度が平年より高い日が続きソメイヨシノの開花が記録的な早さで北上しています。市内でも葉桜となってしまうほどの現在です。サトザクラも間もなく開花しそうな気温です。春はどうしてもサクラに目が行ってしまいがちですが、ヤマブキやスミシなども次々と葉を広げ開花しています。この季節、周りを観察してみると植物の営みを感じ取れると思います。ちょっと出かけてみて自然に触れてはどうでしょうか。この公園内でも芽吹きが進み花を開こうとしている植物に出会えます。



My ガーデニング

・・・季節のワンポイントアドバイス

【水やり】

今年は冬の間は降雪量、降水量がともに少なく乾燥した状態が続いていました。植物は春の芽吹きに合わせ水分を多く必要とします。植え替えた場合は特に水切れは致命傷になってしまいます。いくら根の状態が良くても一度乾かしてしまうと元には戻りにくいです。植え替えの適期だった植物も枯らしてしまうことが多々あります。天から降ってくる雨と違いホースの先から出る水はあげたようでも思ったほど根までは届いていません。ゆっくりとまんべんなく樹冠全体からかけてあげるようにします。根元を腐葉土などで覆っておくと乾燥と雑草を防ぐことができます。水やりの時間はできれば午前中が良いですね。

【植替え】

植え替えは芽が伸びだした落葉樹はすでに遅すぎます。今年の秋まで待つのがベストです。常緑樹は新芽が伸びだす前までが適期です。早めに行くと失敗が少ないです。芽が伸びだして軟らかい状態のときに植え替えるとかなりの確率で弱り枯れてしまうこともあります。その次に行くとすると新芽が固まった梅雨時期に行えると以前はいわれてきました。しかしすぐに暑さが来てしまうために、極端に温暖化が進んだ今は適当ではないかもしれません。常緑針葉樹は芽が伸び始めるまでが適期ですので急いで行います。ただ今は鉢植えなどは時期を選ばないで植え替えることも可能です。

【肥料】

以前にも書いておきましたが寒肥は与えましたか？もしやっっていなかったら急いで発酵済みの油粕などをあげてください。野菜などに使うチッソ成分が高い高度化成肥料は庭の樹木には向きません。成分が低くゆっくり長く効く肥料がベストです。ツツジなどは開花後にお礼肥えとしてあげるようにするとその後に新芽が伸びやすくなります。草花は液肥をあげるようにするといきいきとします。

【病害虫】

病気は予防、害虫は早期の退治が基本です。今年もすでに毛虫が卵から孵化して活動しているのが見られます。まだ早いうちは害虫も小さく散らばっていないので早く退治すると被害を抑えることができます。ただマサキやボックスウッドにつくユウマダラエダシャクやツツゲノメイガは春先に発生してかまわないでおくすべての葉が食べられてしまいます。見つけ次第捕殺するか薬剤散布で対応します。植物それぞれにつく害虫は決まっているのでその時期が来る頃には早めに対処します。カエデ類は特に新芽が開こうとしているときにアブラムシがぎっしりと発生しているのを見る人が多いですね。そうすると葉が萎縮したりしてしまいます。そしてその樹木の下はアブラムシの排泄物で濡れたような状態になっています。薬剤散布で対応しますが、葉が柔らかいうちは薬害で茶色に傷んでしまうこともあります。葉が固まってからの散布がいいです。アブラムシは年に何度も発生しますから日頃から薬剤散布で対応します。



写真は梅の枝の又になった部分についているオビカレハの幼虫です。

**【剪定】**

落葉樹はこれからの時季は弱い剪定にとどめます。切りすぎると弱ってしまいます。常緑樹は強めな剪定が可能な時季になりますが切りすぎて葉が少なくなり幹が直射日光に強くさらされるようになってしまうと幹焼けをおこしてその部分が枯れてしまうこともあります。適期といえども徒長枝や幹に近い内側の弱った枝を整理するような剪定が好まれます。その為には毎年剪定を行って樹形を整えておくことが大事です。ノコギリを使うような剪定はNGですね。写真は新梢が伸びだしたアカマツです。4 月末ごろにみどり摘みという作業を行います。そうするとそこからまた次の枝が出てきます。マツにとってはとても大事な作業の一つです。

【この時期のハナカツミ】

この時季になると葉が伸びてきてもうすぐその中から花が伸びだしてきます。青紫色の可憐な花が見れるのはもうそこまできています。その後は遮光をして苦手な暑さからハナカツミを守ってあげます。ハナカツミは正式にはヒメシヤガですが、白花や八重咲もあります。